

■発行 日本会議大阪事務局 大阪市中央区久太郎町4丁目渡辺6号 大阪府神社庁内
TEL 06-6245-5741 FAX 06-6243-1682
E-mail nippon@jp.bigplanet.com

■1月14日(土)、第12回尖閣署名活動を展開、長尾 敬先生(衆議院議員)もご参加

去る1月14日の午後3時から5時まで、難波高島屋前で第12回目の尖閣署名活動を行った。

当日は曇天で冷え込んだ冬枯れの天候であった。

この日は「尖閣諸島開拓の日」で、石垣市では記念式典が開催されたのに伴い、全国統一行動でもあった。スタッフは役員、頑張れ行動委員会、いつも署名活動で協力して頂いている会員や有志、また飛び入りでチラシ配布を協力して頂いた女性、学生など17名で、超党派の領土議連の事務局長を務めておられる民主党の長尾敬・衆議院議員にも途中から参加して頂き、マイクを持ってもらった。

尖閣事件から相当が経過したとはいえ、尖閣諸島海域は中国公船が領海侵犯や排他的経済水域に侵入して、益々危機が増大化していることや、全国でこれまで全国で220万に達した国民世論が政治を動かして、今回の通常国会では海上保安庁の海上警察権が強化される法案が上程される運びとなっていること、さらに法案が通るまで署名活動を続行することなどを粘り強く訴えていった。

土曜日の難波はさすがに人の通行が多かったが、結構、チラシを取って頂いたり、署名している人がいるとそこに集まってきたり、またマイクの訴えをじっくり聞いてから署名に応じる人が目立った。

公務の最中、駆けつけた長尾議員は、今回の通常国会開会とともにこの海保の海上警察権の強化の関連法案が上程される道筋など最新の国会状況を紹介され、我々とともに尽力していくことを語られ、説得力があった。

またこれまで何回も参加している署名スタッフは、若いグループに積極的に声をかけて話し込んだり、日本会議の入会チラシをチラシと一緒に配布しながら日本会議のPRをしたりして、工夫する場面も見られた。

用意したチラシ750枚は全て配布でき、当日の署名数は236名だった。署名の積み重ねが、国政に影響を与えているという訴えは、多くの人々に問題意識を喚起できた活動となった。

産経大阪総局からも取材に来られ、翌日には記事が掲載された。



長尾議員が訴える

■1月27日(金)、国旗掲揚を推進する御堂筋パレードに350名が参加



御堂筋に小旗がなびく

去る1月27日(金)の午後、国旗掲揚の推進をアピールする御堂筋パレードが開催され、約350名の参加者が集合場所の坐摩神社境内に集まった。

この日は、明治3年1月27日に太政官布告で日本船の目印として定められた歴史的経緯に因み、実質的に日の丸が我が国の国旗として定まった日である。ほとんどの人々はそのことを知らないが、大阪では長い間、この日に国旗掲揚を呼びかける御堂筋パ

レードを神道青年会が継続して行って来て、今では本会が主催の下、神道青年会が運営主体として開催している。

寒風が吹いて冷え込みの厳しい中、集合場所の坐摩神社境内から御堂筋を南下、大きな日章旗を先頭に、参加者が持参した日章旗も掲げられ、「祝日には国旗を掲げましょう！」のアナウンスに続いて、参加者が「掲げましょう！」と元気よく声を出しながら、日の丸の小旗を振ると、その旗波が実に綺麗に映えて感動した。

通りを歩いている人々からも注目されるとともに、歩道では小旗や、スローガンを入れたティッシュも配布して、パレードの趣旨を訴えていった。元町まで約 50 分間行進し、4 時には解散した。

昨年、大阪府議会では国旗国歌条例が制定され、府立学校や公共施設では常時掲揚が義務付けられることとなったが、一般家庭や会社などで祝日には掲げられていないこともあり、一人一人の自覚が必要となっている。その中で、祝日に国旗掲揚を進めることは大変意義あることと思う。

■ 2月6日（月）神道政治連盟大阪府本部設立 40 周年記念 時局講演会に 1200 名が結集！

～安倍元総理、田議員が講演～

去る 2 月 6 日（月）の午後、神道政治連盟大阪府本部の主催で設立 40 周年記念の時局講演会が大阪市中央公会堂で「今こそ！日本再生！」と題して安倍元総理の講演、続いて安倍氏と稲田朋美・衆議院議員との対談形式で開催された。本会も共催団体の一つとして、これまで参加の呼びかけなどに協力してきた。



安倍元総理の講演

当日は平日で、しかも小雨の天候の中にもかかわらず、参加者約 1200 名と会場満杯となる関心の高さであった。安倍元総理の講演ということもあり、府警の警備が厳重で、事前に金属探知機を 2 台入れることが通告され、その対応策や雨対策で会場内には傘を持参することができないために、傘預かりをどうするか、また玄関前に集まった参加者をどう誘導するかなど、準備が大変であった。その打ち合わせの成果が出て、スムーズに 1000 名規模の参加者を入場することができたのは、神社界の協力によるところが大きかった。

安倍元総理は、拉致問題、憲法改正についてドイツと比べた場合の我が国の改正条項の硬性さ、東日本大震災で国民を励まして来られた天皇皇后両陛下の御心は我が国の伝統の重さによるものであること、米国作家のドナルド・キーン氏が日本国籍を取得した背景には日本人の素晴らしさがあることなど話題は多岐に渡ったものの、しっかりとした歴史観と日本再生に向けた確かな国家戦略を持っておられることを随所に感じさせるものがあった。

続いて稲田議員との対談では稲田氏からの安倍氏への質問形式で展開されていったが、集団的自衛権、領土領海問題、TPP、女性宮家創設問題、政局と時局にあった話題となり、両氏ともに見識が実に深く、またわかりやすく解説をして頂き、まさに現下の我が国を救済するリーダーであることを実感した。

消費税増税、普天間問題など混迷した政治情勢の中で、日本再生を託することのできる政治家の話の直に聞くことができたことは参加者にとっても満足をする事ができたのではなかったと思う。

講演後、両氏と参加した地方議員との意見交換会も僅かな時間であったが、設けることができてよかった。

■建国行事に過去最高の 370 名が参加 ～中東 弘・枚岡神社宮司が記念講演～



会場満杯の中での中東宮司の講演

去る2月11日(土)の午後、日本会議大阪が主催して大阪府神社庁会館にて「建国記念の日をお祝いする府民の集い」が開催され、国会議員2名(本人)、地方議員約20名をはじめ日本会議会員、一般府民約370名が参加し、会場満杯となった。

第1部の奉祝式典では、ご神殿を通して、橿原神宮遙拝、国歌斉唱、千家敬啓・日本会議大阪議長の主催者の挨拶、長尾敬・衆議院議員、高野伸生・日本会議大阪地方議員懇談会会長の来賓の挨拶、「紀元節」の歌を全員で唱和、衛藤恭・日本会議大阪運営委員長の先導による聖寿万歳で滞りなく、厳粛な雰囲気の中で終了した。

続いて第2部では映画「日本のあけぼの 神武天皇」(企画・制作 橿原神宮 平成2年)を上映、講演の前に神武天皇のご東征のイメージと今に継ぐお祭りの映像であったが、大変、好評であった。

続いて第3部の記念講演では中東 弘・枚岡神社宮司(日本会議大阪中河内支部長)が「古事記編纂1300年と先人の知恵」と題して、お話を頂いた。中東宮司は神様の世界について多岐にわたって、わかりやすく、しかも自然体でお話を頂いた。

先人は日常生活の中に自分の魂を磨き、神様に近づいていくことを願うとともに、今では当たり前のように行われていることが、実は神事につながっていること、大和言葉の一つの字にも神様と結びついた意味があること、火や水や土、見えない存在を神として敬い、感謝してきたことを紹介された。そして今日、唯物的な見方をする人々が多くなったが、東日本大震災後、日本人は目覚め始め、今年の古事記1300年に神話の話に関心が高まるとともに、来年は神宮の遷宮に当たり、益々、人々の心も変わっていく絶好の契機を生かし、国中が反省し感謝の気持ちを持たれば、国は再生していくと語られた。最後に枚岡神社で年末に行われている笑いの神事について紹介され、全員で声高らかに笑いを繰り返す、非常に心が解放されて、楽しい雰囲気となった。

続いて事務局より今後の国民運動のご案内をさせて頂いた。

総じて、多くの人々がこの混迷した時代の中で、再生のエネルギーを日本神話に求めているのではないかと確信のできる建国行事となった。翌12日の産経社会面で、行事のことが紹介されていた。

《本会・支部・関係団体行事のご案内》

■日本会議大阪・神道政治連盟大阪府本部地方議員懇談会 平成24年度合同総会

「日本再生に向け、保守勢力の結集を！」

地方議員懇談会も神道政治連盟がバックアップして更にパワーアップして、領土領海を守る法整備、人権、女性宮家創設問題など地方議会から正論を国会に働きかけていきます。

※総会は原則的に地方議員の先生方の参加となります。

- ・日 時 3月31日(土) 総会 2時～2時半
記念講演 2時半～3時半、懇親会 3時半～4時半
- ・会 場 大阪府神社庁会館5階 地下鉄御堂筋・中央線「本町」駅下車、⑮番から徒歩1分
- ・講 演
演題 「女性宮家創設・人権侵害救済法案・領土領海防衛への対応」(仮題)
講師 八木 秀次 先生(高崎経済大学教授・日本教育再生機構理事長)
- ・参加費 5,000円
- ・お問合せ 日本会議大阪事務局 TEL06-6245-5741(担当 丸山)

■第24回同期の桜を歌う会

- ・日 時 4月7日(土) 受付 午後12時半、本殿正式参拝 1時、軍歌奉唱 2時～4時半
- ・会 場 大阪護國神社境内 地下鉄・四ツ橋線「住之江公園」下車すぐ
- ・参加費 お1人様 1,000円(飲料等を含む)
- ・出演者 梅谷 裕子(ソプラノ)、梅谷 忠洋(フルート)、立津 宏嗣(ピアノ)
※本会も参加団体として、11時半より、高砂の間で映画「天翔ける」を上映致します。
- ・主 催 同期の桜を歌う会実行委員会 TEL06-6681-3638

■第14回憲法シンポジウム

- ・日 時 5月3日(木) 午後2時～4時半
- ・会 場 大阪府神社庁会館5階
- ・演 題 「島嶼防衛—われらいかにして守るのか」(仮題)
講 師 北村 淳 先生(戦争&平和社会学者)
[略歴] 東京生まれ。東京学芸大学卒業後、警視庁公安部等に勤務。ブリティッシュ・コロンビア大学でPh.D.(政治社会学博士)取得。現在、軍事コンサルタント(米シンクタンク)、シアトル在住。著書に「アメリカ海兵隊のドクトリン」(芙蓉書房)「米軍の見た自衛隊の実力」(宝島社)「海の生命線」「島嶼防衛」(明成社)等がある。
- ・参加費 1,000円(正会員以上は無料)
- ・主 催 日本会議大阪 TEL06-6245-5741(担当 丸山)
- ・共 催 関西民間憲法臨調